

番号	11		平成29年度公共事業再評価調査		担当課名 河川海岸整備課	
事業名	こういきれんけいじぎょう 広域連携事業			事業主体	静岡県	
箇所名	にきゅうかせん くろしがわ 二級河川 黒石川			関係市町村	焼津市	
事業採択年度	平成 24 年度		計画期間	平成24年度 ~ 平成41年度		
用地着手年度	平成 24 年度		工事着手年度	平成 25 年度		
再評価理由※	事業採択(H24)後5年間が経過した時点で継続中					
全体事業費	百万円 6,348	投資状況 (百万円)	~H27年度 661	H28年度 60	H29年度見込 132	計 853
事業概要	<p>(1)事業目的 河床掘削、護岸整備等の河川改修により、河川整備計画に位置付けられた昭和57年9月洪水と同規模（概ね5年に1度）の洪水が発生しても、浸水被害を生じさせず洪水を安全に流下させ、焼津市密集市街地区の浸水被害解消を図る。</p> <p>(2)事業内容 ・河川改修：延長 3,250m（掘削工、護岸工）、橋梁11橋、樋門・樋管22基</p>					
事業の必要性	<p>【視点1】</p> <p>(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 黒石川流域では、(都)志太海岸線の整備や、会下ノ島石津及び焼津市南部土地区画整理事業の実施により流域土地利用の高度化が進んでいる。また、低平地部の排水不良や支川の氾濫による内水被害が生じており、平成16年6月洪水では床上浸水4戸、床下浸水21戸の被害を被ったことから、地元住民の工事に対する期待は大きく、早期改修が望まれている。</p> <p>(2)事業の投資効果 B/C=36.75（総便益 170,601百万円/総費用 4,642百万円）</p> <p>(3)事業の進捗状況 河口から護岸整備を進めており、右岸側はL=240m、左岸側はL=94mが完了している。また、河川改修としての用地取得は、右岸側会下ノ島石津土地区画整理区間において、土地区画整理事業と連携して用地の確保を進めており、平成29年度で当該土地区画整理区間の用地取得が完了する見込みである。</p> <p>平成29年度末進捗率 事業費：13.4%（853百万円/6,348百万円） 事業量：2.9%（94m/3,250m）</p> <p>評価 <b>継続が妥当</b> ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>					
今後の事業の進捗の見込み	<p>【視点2】</p> <p>黒石橋下流までの会下ノ島土地改良区の用地取得も概ね完了しているため、引き続き下流から護岸整備と河床掘削を実施するなど、計画的な事業進捗に努め、早期の効果発現を図る。</p> <p>評価 <b>継続が妥当</b> ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>					
新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性	<p>【視点3】</p> <p>掘削による発生土を他河川の盛土材や海岸における津波対策の防潮堤整備などに流用して残土の有効活用を図るなどコスト縮減を図る。</p>					
対応方針(案)	<p>(1)対応方針(案) 本事業を（<b>継続</b>・見直し後継続・中止）する。</p> <p>(2)理由 事業は順調に進捗しており、費用対効果も認められる。地域住民の期待も大きく、浸水被害を解消するため、事業継続とする。</p>					

## 費用対効果算出説明書

### 二級河川黒石川

(「治水経済調査マニュアル(案)」国土交通省河川局 平成17年4月)

### 総括表

総便益 B	[治水事業を実施しない場合の被害額]－[治水事業を実施した場合の被害額]+[施設の残存価値] ※ 現在価値化後	1,706.01億円
総費用 C	[建設費]+[評価期間内に必要な維持管理費] ※ 現在価値化後	46.42億円
B / C		36.75

### 総便益

○治水事業の有無による被害額の差分  
年平均被害軽減期待額を社会的割引率4%、評価対象期間63年(整備期間13年+50年)とし、現在価値化する。

○施設等の残存価値  
評価期間末における施設等の残存価値を社会的割引率4%で現在価値化する。

#### 総便益

$$\begin{aligned}
 B &= \Sigma \text{年平均被害軽減期待額} + \text{評価期間末残存価値} / (1+0.04)^n \\
 &= 1,704.86\text{億円} + 1.15\text{億円} \\
 &= 1,706.01\text{億円}
 \end{aligned}$$

※ 被害額は洪水による家屋、事業所、農作物、公共土木施設などの被害額と営業停止損失、家庭・事業所における応急対策費用である。

※ 年平均被害軽減期待額は洪水の生起確率を生起確率別被害軽減額に乘じ、計画対象規模まで累計することにより算出する。

※ 整備期間中の便益は、事業費に比例して発生するものとする。

### 総費用

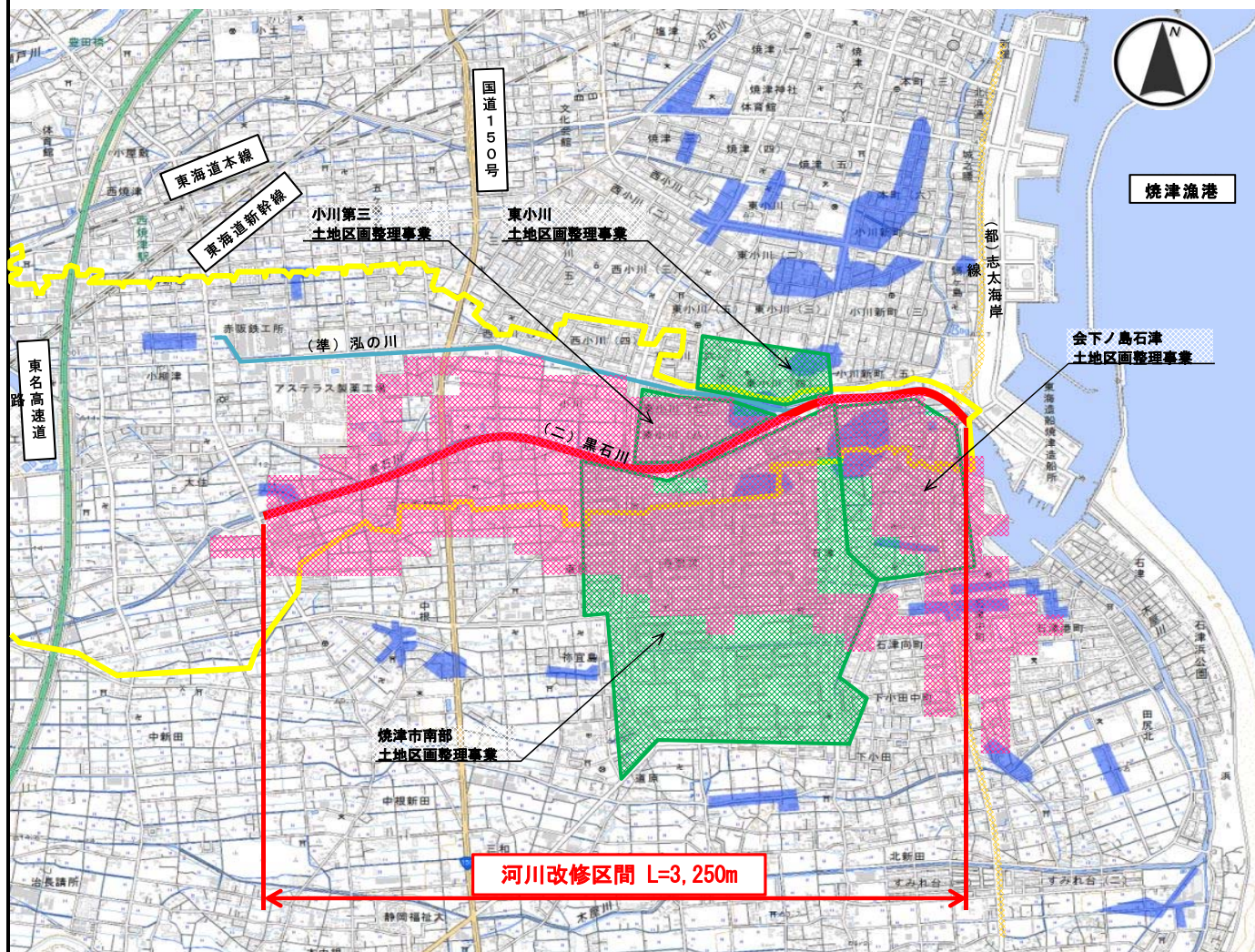
○事業建設費  
各年の事業建設費を社会的割引率4%で現在価値化する。

○評価期間内に必要な維持管理費  
各年の維持管理費を社会的割引率4%で現在価値化する。  
建設費の0.5%/年、評価対象期間：63年

#### 総費用

$$\begin{aligned}
 C &= \Sigma \text{各年事業建設費} / (1+0.04)^n + \Sigma \text{年間維持管理費} / (1+0.04)^n \\
 &= 41.86\text{億円} + 4.56\text{億円} \\
 &= 46.42\text{億円}
 \end{aligned}$$

# 黒石川 位置図



凡 例

- 想定氾濫区域(S57.9降雨同規模:1/5年確率)
- H16.6浸水箇所
- 流域界
- 土地区画整理事業箇所
- 事業区間

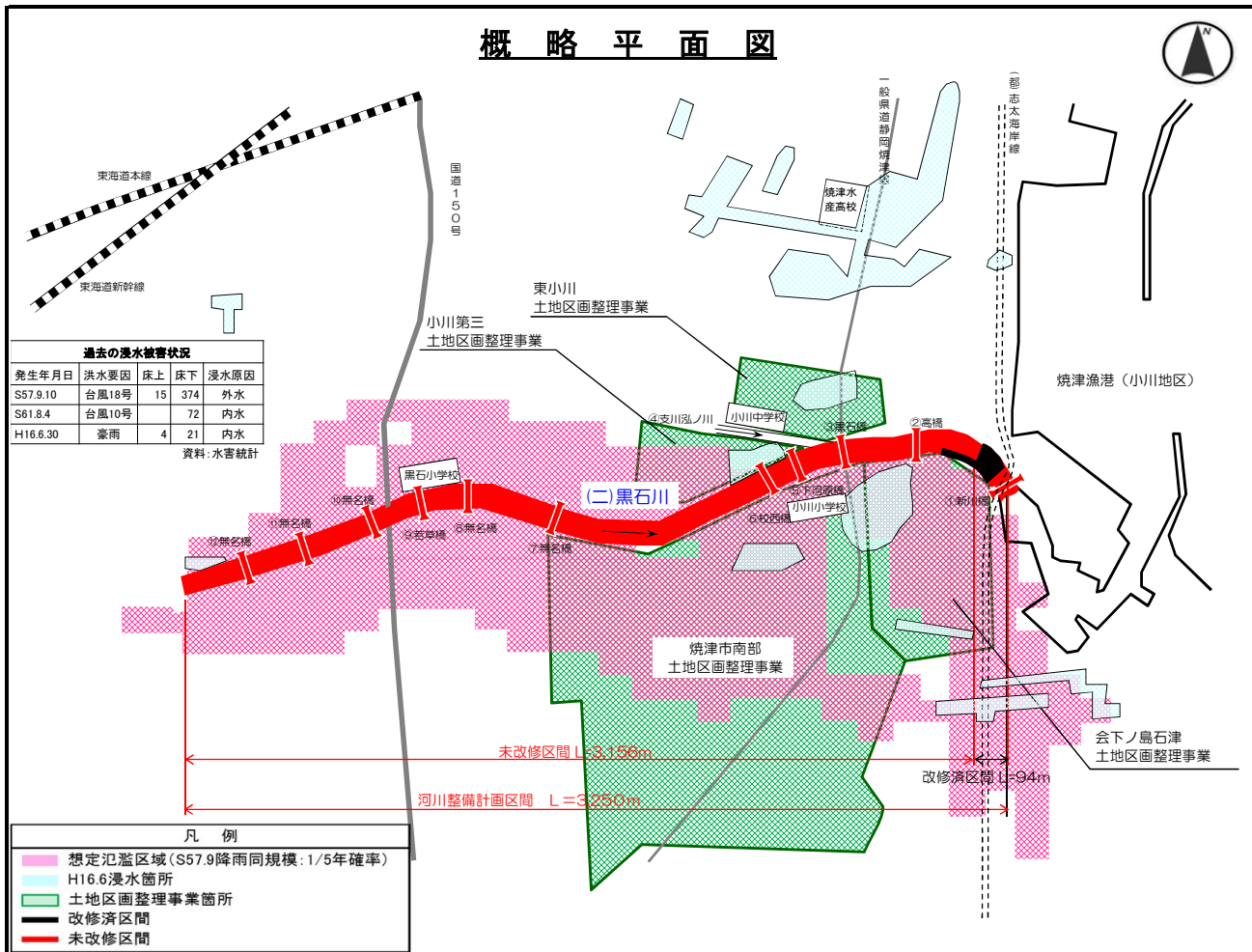
過去の浸水被害状況				
発生年月日	洪水要因	床上	床下	浸水原因
S57.9.10	台風18号	15	374	外水
S61.8.4	台風10号		72	内水
H16.6.30	豪雨	4	21	内水

資料:水害統計

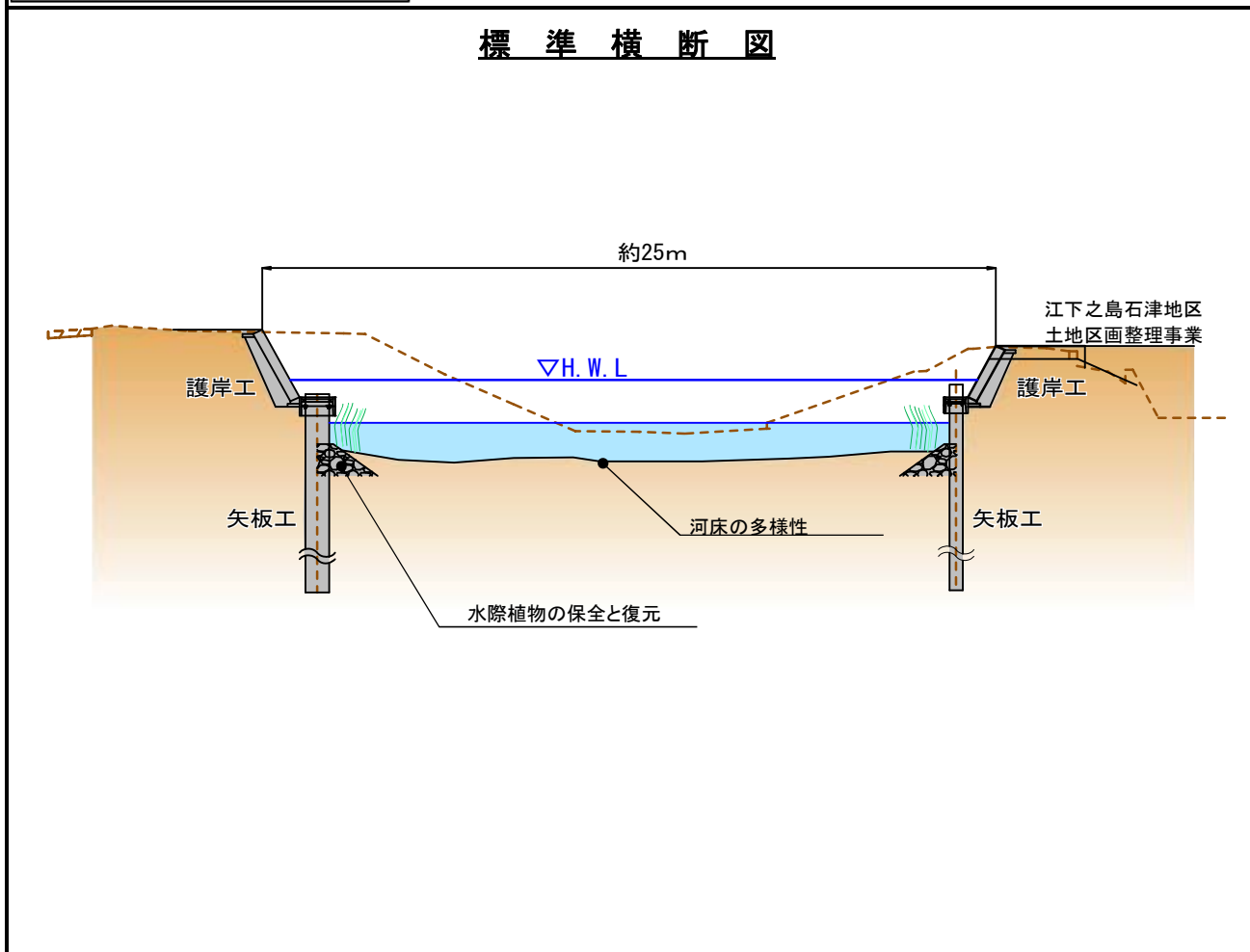


黒石川 流量配分図

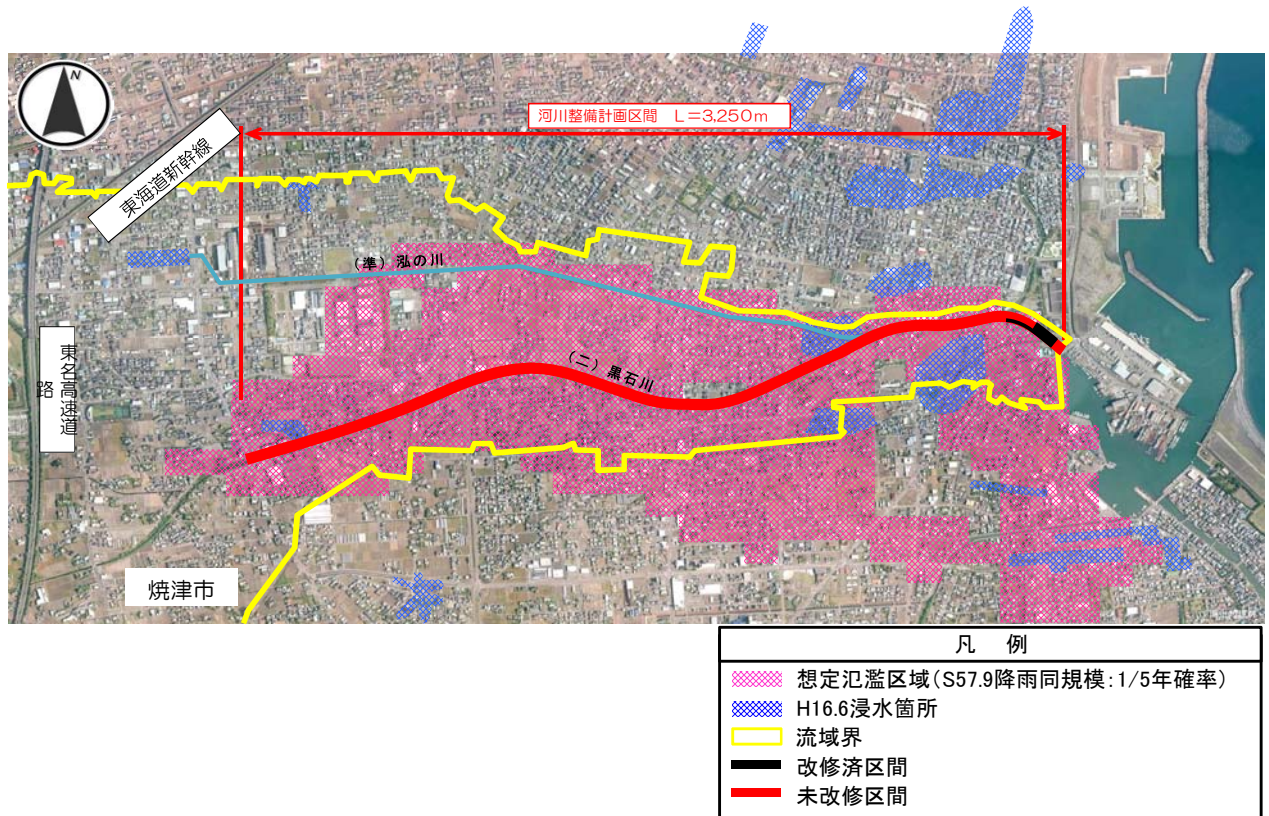
# 概略平面図



# 標準横断面図



## 航空写真



## 浸水被害の状況



## 改修区間の状況



## 未改修区間の状況

